

(記入方法)

請求日 年 月 日

(宛先) 白老町長

施設等利用費請求書 (償還払い用)

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【 年 月～ 年 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

- 1. 申請者と認定子どもが、白老町内に居住していることを白老町が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを白老町が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を白老町が確認すること。
4. 課税状況を白老町が確認すること。

請求者(子どもの保護者)について、氏名・生年月日・住所・電話番号・子どもとの続柄を記入・押印する。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

Table with columns forフリガナ, 氏名, 認定子どもとの続柄, 生年月日, 現住所, 電話番号.

認定子どもについて、氏名・生年月日・住所(転出の有無)を記入する。

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

Table with columns for 法第30条の4の認定種別, 生年月日, フリガナ, 氏名, 住所, 転入/転出状況.

認定子どもが在籍する幼稚園・認定こども園を記入する。

3. 在籍する幼稚園・認定こども園

Table with columns for フリガナ, 施設名称, 所在地, 在籍状況, 期間中在籍, 途中入園/退園.

請求者(子どもの保護者)名義の振込先口座を記入する。

4. 償還払いの振込先を記入して下さい(※1)

Table with columns for 金融機関名, 預金種目, 口座番号, 支店/出張所.

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本町指定の委任状を提出してください。

<裏面も記入して下さい>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※2)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

①	フリガナ	記入不要	所在地	〒
	施設名			
②	フリガナ			
	施設名			
③	フリガナ			
	施設名			
④	フリガナ			
	施設名			
⑤	フリガナ			
	施設名			
⑥	フリガナ			
	施設名		電話：	

※2 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみです。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4	請求額 ※5 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※4	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
年 月	記入不要					円
年 月						円
年 月						円

※3 「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※4 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証（口座振替の場合は通帳コピー等の確認ができる書類等）と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付して下さい。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。